

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 381 事業名 エイズ予防事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
事項		エイズ予防事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年		
関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	坂東貞次 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどのような状態にする）ための事業か	事業内容				
市民に対してイベントの開催やパンフレット等の配布を通じ、エイズの正しい知識の啓発を図る。また、感染の早期発見・治療のための検査や相談業務を実施し、感染の予防及びまん延の防止を図る。	一般市民を対象にエイズ予防に関すること（相談・検査・啓発等）を実施 1 エイズ抗体検査（相談は随時実施） 電話・来所にて予約を受け付け、保健師/看護師が相談・採血実施。市衛研に依頼し検査を実施。保健所医師より結果を本人へ対面で説明、陽性時は医療機関への紹介を行っている。 費用は無料で、匿名で実施。結果証明書を希望時は有料となる。 実施日時 毎週水曜日 午後6時～午後8時 / 毎週木曜日 午前9時～午前11時 HIV検査普及週間・世界エイズデーの際には、休日即日抗体検査を実施している。 2 普及啓発 中・高校にて、エイズや性感染症についての正しい知識と予防方法について				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	エイズ啓発イベント及びパンフレットやグッズの配布・休日HIV即日検査は新型インフルエンザ発生に伴い中止。 1. 中学校3校・高校1校へ思春期前講座 2. HIV検査205件及び相談76件（毎週水・木曜日）	・わか地下広場にて、啓発イベント（パンフレットやグッズの展示・配布、人形劇やダンスパフォーマンス等）を行い、その2週間後に休日抗体検査を実施（10名）。 ・高校2校へ思春期前講座を実施。 ・HIV検査237件（毎週水・木曜日） ・HIV検査普及週間に、休日即日抗体検査を実施（28名）。	1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施（8名） 2 高校3校へ思春期前講座を実施 3 HIV検査254件（毎週水・木曜日） 4 HIV検査普及週間に、休日即日抗体検査を実施（6名）		

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	898	255	854	1,072	724	656	723		723	
	伸び率 (%)	-	-	-4.9%		-15.2%					
	人件費	常勤職員	8,454	6,959	8,454	6,843	8,454	6,886	8,454		8,454
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0		0
	小計	8,454	6,959	8,454	6,843	8,454	6,886	8,454		8,454	
	国庫支出金	449	404	427	426	362	361	361		361	
	県支出金										
	市債										
その他	1	0	1	9	1	8	5		5		
一般財源(税等)	448	-149	426	637	361	287	357		357		
所要人数	常勤職員	1.1	0.91	1.1	0.91	1.1	0.91	1.1		1.1	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0		0	

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	検査・相談の啓発の種類	年度目標値								
		実績値			2	9	7			
	単位	種類	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
			年度目標値		実績値		年度別達成度			
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
成果指標	検査相談数	年度目標値			350	380	400	400	400	
		実績値			205	321	304			
	単位	件	全体目標値		400	全体目標達成度		76.0%	年度別達成度	
			年度目標値		実績値		年度別達成度			
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	
		A	

担当課評価の根拠	法定受託事務のため、現状のまま維持継続する。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	